

- 1 主題名 友だちと接する時に大切なこと
- 2 ねらい 礼儀の大切さを知り、だれに対しても真心をもって接し、言葉に気をつけて生活しようとする態度を育てる。

教材名 「かなちゃんへの手紙」（出典：「彩の国のどうとく」（中学年『「みんななかよし』 県教委）

3 主題設定の理由

(1) ねらいや指導内容について

本主題の内容項目B『礼儀』は『B 主として人とのかかわりに関すること』に位置付けられており、第3学年及び第4学年においては、「礼儀の大切さを知り、誰に対しても真心をもって接すること。」とある。これは低学年の「気持ちのよい挨拶、言葉遣い、動作などに心掛けて、明るく接すること。」を発展させたものであり、高学年の「時と場をわきまえて、礼儀正しく真心をもって接すること。」中学校の「礼儀の意義を理解し、時と場に応じた適切な言動をとること。」へ発展していくものである。

礼儀とは、相手の人格を尊重し、相手に対して敬愛する気持ちを具体的に示すことであり、心と体が一体となって表れてこそ、そのよさが認められるものである。また、心が礼の形となって表れ、礼儀正しい行為をすることによって、自分も相手も気持ちよく過ごせるようになるものである。

社会生活の中で人間関係をよりよく保つために、礼儀正しく過ごすことはとても重要である。あいさつや言葉遣い、所作や動作など作法として表現することが、人間関係を豊かにし、社会生活を円滑に営めるようにしていくことにつながる。

子供たちの生活の多くは、学校と家庭が中心である。そのため、家族以外で多く深く関わっているのが、友だちである。その友だちと関わる中で、意図しないまま、傷つけ傷つけられることが少なからずある。それは、相手の気持ちを考えずに行動や発言してしまったり、言葉の選び方がよくなかったり、自分の負の感情をコントロールできなかつたりすることがあるからである。

そこで、友だちと接する時に大切なことは何かを考えていき、相手のことを親身に思いやる心をもって接することをしっかりと考えさせるために、本主題を設定した。

(2) これまでの学習状況及び児童の実態について

本学級の児童は、好奇心旺盛で楽しいことが大好きである。仲の良い小グループで遊ぶこともあれば、男女分け隔てなくこともある。また、クラスレクを週2回企画して、みんなで遊んでいるが、4月当初はルールが未確定で、遊び始めが遅くなったり、自分勝手な行動をして遊びが中断したりすることがあった。

また、一方的に自分の意見を伝えて、相手のことを考えなかつたり、言葉遣いが乱雑になったり、イライラした気持ちをぶつけてしまったりして、ケンカになってしまう時もあった。その都度、どうしたらいいかを共に考えてきたので、トラブルは減りはしたが、なくなっていないのが現状である。

このような現状から、礼儀の大切さを感じさせるとともに、友だちに対して真心をもって接することの大切さを感じさせていきたい。相手と関わる中で、相手の気持ちを考えたり、言葉遣いに気をつけたり、自分の気持ちを落ち着けて相手と接したりする大切さを感じ取らせながら、意欲を高めて、実践に結び付けるように指導していきたい。

(3) 教材の特質や活用方法について

本教材は、けんかをしてしまった友だちに対して、怒った気持ちのまま書いてしまった手紙を相手の机に入れようとして悩み、書いてしまったことを後悔して、相手を思いやった行動について考え始める話である。話し合いを、次の3つの視点から構成する。

① かなちゃんの机の前で心臓がドキドキしたわたしの気持ちを考える。

ここでは、相手が悪いと思って勢いで手紙を書いた気持ちと、手紙を机の中に入れてはいけないと思う気持ちの両方の気持ちの葛藤を感じ取らせ、話し合い、考える。

この時に心情円盤を使って、自分に入れてしまう気持ちが強いのか、入れない気持ちが強いのか立場を明確にして、小集団→全体で話し合う。相手の言葉を聞いて考えが変わっていくケースも許容する。

② 「思わず座り込んでしまった」わたしの気持ちを考える。

ここでは、相手にも都合があったこと、自分の言い方がきつくて相手は言い出せなかったのではないかとということを話し合い、考える。

③ 友だちと接するときに必要なことについて考える。

ここでは、誰に対しても真心をもって接することが大切であることを考える。具体的には、相手の気持ちを考えたり、言葉遣いに気をつけたり、感情を高ぶらせないように気持ちを落ち着けて行動したりすることが大切ではないかと考え、ねらいとする道徳的価値を深める。

4 学習指導過程

	学習活動と主な発問	予想される児童の反応	・指導上の留意点☆評価の視点
導 入	1 教材への関心を高める。 ○どんなことを言っていると 思いますか。	《けんかの絵》 ・ふざけんなよ。・きらい（大きらい）。 ・もう、遊ばない。・お前のせいだぞ！ 《仲良しの絵》 ・遊ぼう。・楽しいね。 ・大好きだよ。・また、遊ぼうね。	・指導上の留意点☆評価の視点 ・絵の印象から思いつくことを自由に発表させる。 ・言われるとうれしい言葉、言われていやな言葉があることに気づかせる。 ・自分もそういう言葉を使い分けていることに気づかせる。
	2 課題を知る。 ○今日は「友だちとせつする ときに大切なことは」 について考えましょう。	友だちとせつするときに大切なことは。	
	3 教材の登場人物や条件・ 状況について知る。	〈登場人物〉 わたし かなちゃん お母さん ・わたしとかなちゃんは仲良しの友だちである。 ・遊ぶ約束をしていたが、かなちゃんが急に遊べないと言ってきた。 ・わたしが大きな声を出して、かなちゃんが出ていってしまった。	
	4 教材の読み聞かせを 聞く。		・話の状況がとらえられるように読み聞かせをする。

<p>展 開</p>	<p>○わたしの気持ちを考えながら聞きましょう。</p> <p>5 話し合う。</p> <p>①かなちゃんの机の前で心臓がドキドキしたわたしの気持ちを考える。 ○心ぞうがドキドキした時のわたしの気持ちはどうだったでしょうか。 ・<入れる>気持ちが多い子には ⇒こんなことをしたら、かなちゃんがどう思うか考えさせる。 ⇒ドキドキしている気持ちを考えさせる。 ・<入れない>気持ちが多い子には ⇒かなちゃんの言い方ひどかったよね。怒って出て行ったよね。などの行動を考えさせる。</p> <p>②「思わずすわりんでしまった」わたしの気持ちを考える。 ○思わずすわりこんでしまった時のわたしの気持ちはどうだったでしょうか。</p> <p>③泣きながら、手紙を細かくちぎったわたしの気持ちを考えながら、かなちゃんに手紙を書く。</p>	<p><入れる>わたし肯定</p> <ul style="list-style-type: none"> ・かなちゃんの態度が悪かったので、わたしが手紙を書くのは当たり前。 ・かなちゃんが約束を破ったから悪い。 ・出て行ったから悪い。 ・態度が気に食わない。 ・書かなくても言うから同じ。 ・私は悪くない。何あの言い方。 ・遊びたかったな。 ・あやまってほしいから。 <p><入れない>わたし否定</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分がされたらいやだから。 ・イライラしたけど手紙書くなんでわたしはいやな奴だな。 ・友だちなのに、こんな手紙を書いてしまった。ごめんね、かなちゃん。 ・自分はこんなこと思っていたんだ。 ・かなちゃんが見たら悲しむだろうな。 ・入れちゃまずい。書いちゃったけど。 ・しかられちゃうから。 <p>・そんなことを思っていたなんてびっくりした。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・言ってくればよかったのに。 ・手紙入れなくてよかった。 ・あの時追いかければよかった。ごめん。 <p>・少し怒っていた自分の態度が良くなかったからこうなった。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ごめんね、かなちゃん。あなたの気持ちを考えなかったね。 ・理由を聞かないで、ごめんね。 ・すぐに怒ってしまってあなたのことを考 	<ul style="list-style-type: none"> ・かなちゃんに対しての怒りがたくさんあった状況を読み取れるように聞かせる。 ・いろいろな意見を出させる。 ・かなちゃんの態度に腹を立てていたことを考えさせる。 ・自分の書いた言葉に少しドキッとした気持ちを考えさせる。 ・ドキッとしたが、やめられなかった気持ちも考えさせる。 ・心臓の音がドキドキした気持ちについても考えさせる。 (・結局、手紙を入れることはできなかった。) ・意図的に指名することで、<入れる><入れない>それぞれの思いに触れることが出来るようにする。 ・二つの思いに分けてまとめ心の迷いを見えるようにする。 ☆私の迷いに共感している。 ☆友だちの考えをしっかりと聞き、物事を多面的・多角的に考えている。 ・すわりこんだ意味を考えさせる。 ・何回もあやまっていたことを考えさせる。 ・自分が怒っていたから言えなかったのではないかという考えをきっちり押さえる。 ・道徳ノートを使用し、自分の考えを明確にさせる。 ・怒っていた自分がいたことを想起させる。
----------------	--	---	---

	<p>○手紙を細かくちぎった気持ちを考えながら、かなちゃんに手紙を書きましょう。</p> <p>6 自己を見つめ、生き方について考える。</p> <p>○友だちと接するとき大切なことについて考えながら、これからの自分について書きましよう。</p>	<p>えなかったね。ごめんね。これから怒らないように気をつけるね。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・また、遊ぼうね。 ・お父さんに会えてよかったね。言ってくればよかったのに。 ・言い方ひどかったね。ごめんね。これから気をつけるね。 ・電話ありがとう。かなちゃんのことが嫌いになる所だった。 <p>・相手の気持ちを考えて行動しようと思う。</p> <p>・相手の立場になって考えようと思う。</p> <p>・思いやりの心をもって、人と接しようと思う。</p> <p>・言葉遣いに気をつけて人と接しようと思う。</p> <p>・いらいらしたら、落ち着くようにしようと思う。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・相手の気持ちを考えていなかったことを考えさせる。 ・自分の気持ちが伝わるように書くようにさせる。 ☆考えを相手に伝えたり、書いたりすることで、自己の生き方についての考えを深めている。 <p>・これからの自分について『友だちと接するとき気をつけること』を考え書かせる。</p> <p>・今までの生活を振り返り、これからの自分の生活に目を向けられるようにする。</p> <p>☆自分の今までで行動に照らし合わせて、これからのことを考えている。</p>
<p>友だちとせつするとき大切なことは 相手のことを考える（自分の態度・言葉遣い） ≪キーワード≫ ・相手のことを考えて ・言葉づかい ・気持ちを落ちつけて など</p>			
<p>終 末</p>	<p>7 教師の説話を聞く。</p>		<ul style="list-style-type: none"> ・『礼儀』『真心』などのキーワードを入れて話す。
<p>小学3年生の時でした。縄跳びの2重跳びができなくて、残されていた時です。普段の授業では、できる子どももいて、できない事は恥ずかしいみたい感じていたけれども、できない子同士だとできない事を笑わずに、みんなで応援し合って、練習していたことを思い出しました。相手のことを思っていたんだなどこの話しを読んで思い出しました。</p>			

5 他の教育活動との関連

- ・学校生活の中で、誰に対しても真心をもって接することができるようにする。

6 評価の視点

【物事を多面的・多角的に考えている様子】

- ・これまでの自己を見つめ、礼儀の大切さを知り、友だちに対しても真心をもって接することを理解している。
- ・友だちの考えをしっかりと聞き、物事を多面的・多角的に考えている。
- ・考えを相手に伝えたり、書いたりすることで、自己の生き方についての考えを深めている。

【道徳的価値についての理解を自分との関わりで深めている様子】

- ・自分や他人の中にある心の弱さや葛藤があることに気づき、相手の気持ちを考えて、言葉遣いに気をつけて生活しようとしている。

7 板書計画

かなちゃん、
ごめんね。

- ・ 気持ちを考えてなくて。
- ・ 強く言って。
- ・ おこっっちゃって。


友だちとせつするときに必要なことは

かなちゃんへの手紙


場面絵 1

わたし かなちゃん

なかよし



けんか



場面絵 2

入れない (黄色)

- ・ 自分がされたらいやだから。
- ・ かなちゃんが見たら悲しむから。
- ・ しからちゃうから。
- ・ こんなことするのはだめだから。

ドキドキ

入れる (水色)

- ・ かなちゃんが悪いから。
- ・ やくそくしていたのに。
- ・ 頭にきているから。
- ・ あやまってほしいから。
- ・ 遊びたかった。

導入絵 (なかよし)

場面絵 3

入れなくてよかった。

どうしよう。

導入絵 (ケンカ)

かなのバカ!
もうぜったい遊ばない!

8 ワークシート

学習のふりかえり ◎ ○ △

① 自分の事として考えることができた。 ()

② 自分の考えをみんなに伝えることができた。 ()

③ 友だちの考えをきくことができた。 ()

かなちゃんへの手紙

名前

あらためて「かなちゃんへの手紙」を書きましょう。

今までは、

